



みなみ

区のマーク

保健福祉センターだよりは月1回、15日号に掲載



人口 268,051人 (-41)
男123,926人 女144,125人



世帯数 132,365世帯 (-21)
令和5年1月1日現在推計(前月比)

開 = 日時、開催日、期間 所 = 場所 問 = 問い合わせ 図 = ファクス 対 = 対象 定 = 定員 料 = 料金、費用 持 = 持参 託 = 託児 申 = 申し込み 電 = メール 画 = ホームページ



今村 仁士(ひとし)さん (11歳)作

※年齢・学年は応募時のものです

似顔絵募集中

応募方法は区ホームページを見てね。

すてきな似顔絵
ありがとう!



区の広報担当キャラクター
「ため蔵」くん

区役所代表電話

☎561-2131

区ホームページ

福岡市南区

検索

〒815-8501

南区塩原三丁目25-1

窓口受付時間:

午前8時45分～午後5時15分
(土日・祝休日・年末年始を除く)

受賞おめでとうございます
福岡市公衆衛生功労者表彰

市は、永年にわたり地域住民の健康増進および疾病予防などの公衆衛生の向上のために献身的活動を続け、その功績が顕著な個人・団体に表彰状や感謝状を贈呈しています。区の市長表彰受賞者・団体は以下の通りです(五十音順)。

〈個人〉岩田正己さん(西高宮校区)、國武光慶さん(老司校区)、谷洋子さん(高木校区)

〈団体〉野多目ニコニコ歩き隊(野多目校区)

区健康課 ☎559-5114 図541-9914

博多どんたく港まつり南区演舞台 出演者・団体を募集します

5月3日(水・祝)、4日(木・祝)に開催される「博多どんたく港まつり」の会場の一つとして、4年ぶりに「どんたく南区演舞台」(西鉄大橋駅西口広場)が設置されます。同演舞台で踊りや歌、楽器演奏などを披露する個人・団体を募集します。



令和元年度開催時のパフォーマンス

同演舞台で踊りや歌、楽器演奏などを披露する個人・団体を募集します。

区企画振興課 ☎559-5064 図559-5014 区内に居住、または通勤・通学している人、または区内の講座やサークルで活動している個人・団体 両日とも13組程度(応募多数の場合は団体を優先)



【申し込み方法】

区ホームページ(「福岡市南区どんたく演舞台募集」で検索)の専用フォームから申し込むか、区企画振興課や区内各公民館で配布する申込書を同課へ郵送(〒815-8501 住所不要)、メール、またはファクスで送付。

※いずれも3月16日(休)必着



スマホはこちらから

明日誰かに話したくなるクイズ 南区博士への道~その6~

市は、市内産の農林水産物やその加工品を「ふくおかさん家(ち)のうまかもん」と名付け、「地産地消」を推進しています。

弥永二丁目農業を営む新飼章文さん(42) = 写真 = が生産している



「博多〇〇」というブランド野菜は、灰汁(あく)が少なく、サラダでも食べられるという特長があります。さて、〇〇に入る野菜は次のうちどれでしょう。

①かつお菜②春菊③ほうれん草④小松菜
正解・解説は本紙15面(裏面)に掲載。

昨年12月に3年ぶりに実施されたデユオ柏原町内会の餅つき大会は、約30年続く人気イベントです。子どもたちや町内会の役員らが息を合わせて餅をつき、それをきなこ餅にして約300人に配



感染症対策を取りながら3年ぶりの開催を楽しみました

記事 柏原校区 住民同士が交流できる場を

町内会活動にあまり関心がなかった人でも気軽に参加できる交流の場として、今回のようなイベント

区内322の自治会・町内会では、誰でも気軽に参加できる行事やイベントなどのさまざまな活動を通して、住みよいまちづくりを進めています。住民同士のつながり・支え合いの基盤を作る事例を紹介します。

※本紙2・3面に関連 同町内会会長の末光博さん(67)は「町内会が何をしている団体かよく分からないという人も多いようなので、まずはデユオ柏原町内会の活動内容を知ってもらおうと、昨年5月から毎月広報紙を配布しています。

暮らしを支える身近な存在 自治会・町内会活動に参加しませんか

安全・安心な暮らしを守る 関係性を築く必要があると考えています。地域の

「問い合わせ先」 区地域支援課 ☎559-5075 図562-3824

を続ける「語りました。」と語りました。 血山2丁目1区と2区の自治会は、昨年12月に合同で防災訓練を実施しました。大人から子どもまで160人以上が集まり、消火器やAED(自動体外式除細動器)の使用体験のほか、身近にあるもので担架を作って要救助者を搬送する訓練などを行いました。

地域全体で 災害に備える 血山2丁目1区と2区の自治会は、昨年12月に合同で防災訓練を実施しました。大人から子どもまで160人以上が集まり、消火器やAED(自動体外式除細動器)の使用体験のほか、身近にあるもので担架を作って要救助者を搬送する訓練などを行いました。

トを続けていきたいです」と語りました。



消防職員がAEDの使用方法を解説

第10回 桜原桜賞 桜の短歌募集

「さくら」をテーマにした短歌を募集する「第10回 桜原桜賞」を開催します。桜原桜の心温まるエピソードに触れ、さくらにまつわる思いを短歌に詠んでみませんか。

【問い合わせ先】桜原桜賞実行委員会事務局(区企画振興課内) ☎559-5064 図559-5014

【募集期間】3月1日(水)～9月30日(土) 【応募方法】各区役所、区内各公民館、市内各郵便局などで配布する募集チラシに添付のはがき(自分で用意したはがきも使用可)に短歌・名前・ふりがな・住所・電話番号・年齢・職業(学生の場合は学校・学年)を記入して同実行委員会事務局(〒815-8501 住所不要)へ郵送するか、区ホームページ(「桜原桜賞」で検索)、メール(hibaru@city.fukuoka.lg.jp)で応募。



スマホはこちらから

※応募は1人につき1首まで。 【副賞】クオカード(福岡市長賞3万円分、その他各賞1万円分)、楯(学校賞)

※語り継がれるエピソード「桜原桜物語」 39年前の春、道路拡幅工事で伐採予定の桜に一人の住民が桜との別れを惜しむ短歌を添えました。すると、地域住民を中心に次々と桜の伐採を惜しむ歌が桜に連なり、そこに当時の市長が返歌しました。住民と行政が短歌を通して心を通わせた結果、道路計画は変

更され、その桜が咲き誇る「桜原桜公園」= 写真 = は、今も地域の人々の憩いの場であり続けています。



応募方法や桜原桜のエピソードなどに関する詳細は、同ホームページをご確認ください。

3/21(火) 短歌講座を開催します

福岡女学院大学准教授で桜原桜賞選考委員長を務める歌人の桜川冴子氏が、短歌の基礎知識や作り方について初心者にも分かりやすく解説します。短歌を学び、桜原桜賞に応募しませんか。

開午前10時～11時50分 所南市民センター 対市内に居住、または通勤・通学する18歳以上 抽選40人 申3月10日(金)までに同ホームページ内の専用フォームからお申し込みください。

**高齢者向け陶芸・園芸教室
受講者を募集します**

参加募集

「陶芸」「園芸」について専門家から学びます。

▷陶芸 = 4月4日(火)以降 毎週火曜の午前10時～正午

▷園芸 = 4月5日(水)以降毎週水曜の午後1時～3時

所 南市区立老人福祉センター 若久園(若久六丁目) ☎511-7255 F511-7558

市内に住む60歳以上▷陶芸 = 抽選16人▷園芸 = 抽選20人

▷陶芸 = 道具代初回のみ3,850円、粘土代4,000円/月▷園芸 = 苗代1,000円/月

2月15日(水)～24日(金)に電話、ファクス、来所、またはメール(wakahisaen@lime.ocn.ne.jp)でお申し込みください。



**2/18 来て！見て！体験！
消防たい(隊)**

参加募集

はしご車の試乗や放水体験などが楽しめます。はしご車の試乗(4歳以上が対象)は、整理券を当日午前9時50分から先着30組(1組3人まで)に配布します。

詳細は、市ホームページ(「南消防署 来て見て体験消防隊」で検索)でご確認ください。

▷午前10時～正午 南消防署(塩原二丁目) 南消防署予防課 ☎541-0219 F552-8148 無料



スマホはこちらから

3/15 みんなで「脳トレ」音読会

参加募集

参加者全員で声を出して本を読むことで、脳を活性化させましょう。一緒に認知症の予防に取り組みませんか。

※感染症対策のためマスクを着用して参加してください。

期①午前11時～11時45分②午後2時～2時45分 所 南市民センター第5会議室 南図書館 ☎561-3048 F561-3054 各回先着5人 無料 無し(音読に使用する本は同館で用意します) 2月15日(水)午前10時以降に電話で申し込みを。来館でも受け付けます。



**新飼さん
オススメ**

**担当記者が博多春菊で
チヂミを作ってみました**

●材料(2人前)

- 博多春菊…2束(ざく切り)
- 薄力粉…70g
- 片栗粉…30g、卵…1個
- 中華顆粒だし…小さじ1
- 水…50ml、ごま油…大さじ2



●作り方

- ①ごま油以外の材料を混ぜて生地を作る。
- ②熱したフライパンにごま油を敷いて生地を焼く。
- ③お好みのタレを付けて召し上がれ。



●担当記者の感想

博多春菊のいい香りを感じられてとてもおいしかったです。なにより簡単なので、皆さんも博多春菊を使ってぜひお試しあれ！



見栄えにもこだわり、丁寧に作業を行います

春菊は軟弱野菜といわれるように、栽培には苦勞もありますが、おいしい野菜を楽しんでもらえるよう、丹精込めて育てています。それだけに、食べてくれた人が喜んでくれるように、栽培には苦勞もありますが、おいしい野菜を楽しんでもらえるよう、丹精込めて育てています。それだけに、食べてくれた人が喜んでくれるように、栽培には苦勞もあ

「博多春菊」は茎が柔らかく、苦みやえぐみが少ないのが特徴です。野菜が苦手な人やお子さんでも食べやすいと思います。

春菊は軟弱野菜といわれるように、栽培には苦勞もあ

**南区博士への道
正解・解説コーナー**

正解 ②春菊

新飼さんから読者の皆さんへメッセージ

と、とてもうれしいですね。お近くの直売店やスーパーなどで見かけたら、ぜひいろいろな調理法で食べてください。



地元の店舗に並ぶ新鮮な春菊

市内産の農林水産物やその加工品を取り扱う「ふくおかさん家のうまかもん」認定店は市ホームページ(「ふくおかさん家のうまかもん」で検索)で確認できます。身近な買い物から地産地消に取り組んでみませんか。

南市区政策企画課
☎733・5583
F711・4841

**保健福祉センター
だより**

【問い合わせ・申込先】※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため中止・延期になる場合があります

①予約センター ☎0120-985-902 F0120-931-869 ②健康課健康・感染症対策係 ☎559-5116

③健康課母子保健係 ☎559-5119 ④健康課精神保健福祉係 ☎559-5118②～④共通 F541-9914⑤地域保健福祉課 ☎559-5133 F512-8811

種類	実施日			受=受付時間 受=実施時間	予約	対象者・料金・場所等 費用の記載がないものは無料、場所の記載のないものは保健福祉センターで実施	問	
	2月	3月	4月					
よかドック(特定健診)					要	40～74歳の市国民健康保険被保険者 500円 国民健康保険証、受診券		
がん検診	24	3	未定	受8:30～10:30	要	【胃がん】 40～69歳 600円 【大腸がん】 40歳以上 500円 【子宮頸がん】 20歳以上 400円 【乳がん】 40歳以上女性 40歳代1,300円、50歳以上は1,000円	①・②	
						40～64歳 500円、65歳以上無料。喀痰(かたん)細胞診検査は別途700円 ※喫煙者など一定の条件に該当する50歳以上のハイリスクの人		
骨粗しょう症検査					要	40歳以上 500円 ※骨粗しょう症で治療中または経過観察中の人を除く		
栄養相談	22	7、22		受10:00～14:45	要	乳幼児や高齢者、生活習慣病予防などの食生活についての個別相談		
離乳食教室	17	17		受13:00～15:00	要	生後4～6カ月の赤ちゃんとその保護者		
離乳食相談	15、28	15、28		受10:00～14:45	要	離乳食についての個別相談	②	
肝炎検査(B型・C型)	21	14		受9:00～11:00	-	20歳以上で検査を受けたことがない人		
エイズ・クラミジア・梅毒検査	21	14		受9:00～11:00	-	匿名での検査		
マタニティ個別相談	-	6		受13:30～15:00	要	区内に住む妊婦 母子健康手帳	③	
心の健康相談	15	15		受9:30～11:00	要	精神科医が対応	④	
	-	9		受13:30～15:30				
こころの病 家族教室	24	-		受13:30～15:00	要	心の病を抱える人とその家族・支援者		
発達が気になる子どもと親のためのサロン「みなみん」	-	8	13	受10:00～11:30	要	市内に住む、発達が気になるまたは発達障がいのある就学前の子どもとその保護者		
母子巡回健康相談	助産師や保健師が身体計測や育児相談などを行います。 【2月】▷20日=弥永西公民館、鶴田公民館▷21日=西花畑公民館▷22日=玉川公民館▷24日=三宅公民館▷27日=花畑公民館、若久公民館【3月】▷2日=横手公民館▷3日=野多目公民館、長丘公民館▷6日=東若久公民館▷7日=西高宮公民館▷8日=大池公民館▷9日=日佐公民館▷10日=宮竹公民館 0歳から就学前の子どもとその保護者 ※妊娠中の人も相談可 各開催日の前月15日9:30～前日17:00(事前予約制) ※開催日が月曜日の場合は、前週金曜日まで							⑤

※予約センターへの予約(9:00～17:00)は、健(検)診の10日前(土・日曜・祝日を除く)までにしてください。予約なしの当日受診はできません。
※胃がん検診は前日午後9時以降の飲食はできません。70歳以上の人はバリウムの誤嚥(ごえん)や、透視台からの転倒等のリスクがあるため内視鏡検査をお勧めします。
※子宮頸がん、乳がん検診は2年度に1回受診可(令和3年4月以降に受診した人は利用できません)。
※70歳以上および市県民税非課税世帯等の人は料金が免除されます(証明書等が必要)。詳しくは②健康課健康・感染症対策係へお問い合わせください。